

事業者向け 放課後等デイサービス Zoo 令和4年度自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1日の利用者定員10名に対して、機能訓練室、相談室、テイルーム等のスペースがあり、基準を満たしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常時適切な職員を配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			扉の開け閉め等ではけがが予測されるため必要のない扉は撤去し、オープンな空間を確保している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			管理者兼児童発達支援責任者を中心に理学療法士等・児童指導員が改善すべき点を挙げ話し合い業務改善に取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けのアンケートを実施し、業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			見えやすい場所に掲示公表し、かつ会報、ホームページにも公開して広く周知を図っている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修参加を勧め、研修後に参加できなかったスタッフのために研修内容の報告会を行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			半年ごとに保護者面談を行い、個別支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			支援を行っていく上で必要な情報を引き出せるような独自のアセスメントシートを使用しており、個々の特性に配慮できるよう、その都度改善を図っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員でプログラムを考えて行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			全職員で様々なアイデアを出し合い固定化しないようにしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			常時、細やかに課題を決め支援を行っている。休日はデイでの課題をご家庭に沿った形で取り組んで頂いている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動を通じて他者との協調性を高めていくことを目標として支援を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援内容の確認、その日誰がどの利用者を担当するかを打ち合わせている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			個別記録を下に支援の仕方について振り返り、気づき等を話し合い共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			スタッフ間で利用者の状況等確認しあい記録を正しくつけ、次の支援への改善につなげている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリング等に限らず、家庭環境や学校生活で変化があった場合など、できる限り訪問しアセスメントを取り、モニタリングや計画の見直しを図っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議を開催の際、児童発達支援管理責任者が参加をするようにしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			常に連携を図り、連絡調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			放課後等デイサービスを利用する前には事前に話を聞き、情報共有するように取り組みをしている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ禍で外出する機会が減っているが、近隣の公園等での活動の際には交流促進を図っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			コロナ禍で電話対応とはなっているが積極的に関係機関との協議に応じ情報収集に努めている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や訪問した際に家庭での様子、デイでの様子を伝え共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの相談・助言に努めている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者様への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に理解しやすいように説明を行い同意を得ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの問い合わせに丁寧な対応を心掛け、助言やアドバイスに努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今現在そのような取り組みはないが、将来的には保護者会の設置や連携を提案していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情が出た場合は迅速に対応し、全職員に改善策を周知し適切な対応を心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			利用時の連絡帳でのやり取りや毎月のお便り、会報等を作成・配布し情報を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報保護に関する取り決めの内容に沿い、情報漏えいのないよう十分に注意し職員間でも定期的に周知を図っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			利用時に連絡帳を通じて詳細な情報を提供している。また随時LINE等の情報伝達手段を活用し、きめ細やかな配慮に努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っているか			○	今現在そのような取り組みはないが、将来的には地域住民を招待し連携を提案していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		緊急時の対応については職員、保護者へも再度訪問した際に周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		年1～2回程度実施している。Zoo便りでわかりやすくしているが、今後事前に保護者に連絡をしていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			定期的に虐待防止の研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			今現在は身体拘束を要する利用者はいないがそのような場合には保護者への説明、了承を得て的確に対応していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者(医師の指示に基づき)から利用にあたっての留意事項として提出していただき、なおかつ気になることは随時確認を取り適切に対応している。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		事例集としてはないが個別記録等に気づきを記載し共有している。また、今後はマニュアル化に努め、さらに情報共有を図りたい。	